

水道事業に関する Q&A

Q1. 水道事業とは何ですか？

A1. 水道事業とは、安全で安定した水を家庭や企業などに供給するための事業です。取水(川や地下水などから水を取る)、浄水(きれいにする)、配水(家庭などに届ける)までを一貫して行います。

中空知広域水道企業団は砂川市富平にある浄水場で作った水を各家庭の蛇口まで供給する、末端給水事業(※)を行っています。

(※ 末端給水事業とは、一般の利用者(家庭や企業など)に対して水を供給する事業です。これとは別に用水供給事業という、水道事業者に対して水を供給する事業があります。)

Q2. 水道企業団とは何ですか？

A2. 複数の地方公共団体(当企業団は滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町)が共同で設立する「特別地方公共団体」のひとつです。

業務内容は各市町単独の水道事業と同様ですが、広域かつ企業的に経営するのが特徴で広域一体運営による効率化や維持更新、小規模自治体では担い手不足になりがちな技術者の確保などのスケールメリットを活かした運営をすることができます。

Q3. どこから水が来ているのですか？

A3. 水源は地域によって異なりますが、当企業団では空知川の下流域に位置しており、その表流水を利用しています。空知川の上流には、南富良野町の金山ダムや芦別市の滝里ダムがあり、これらのダムから空知川へと流れる水を取水しています。取水された水は浄水場で適切に処理され、安全な飲料水として皆さまのもとへ供給されています。

Q4. 水道水は安全ですか？

A4. はい、日本の水道水は水質基準に基づき厳しく管理されており、世界でもトップクラスの安全性を誇っています。定期的な水質検査が行われており、健康に悪影響を与える物質が含まれていないことが確認されています。

中空知広域水道企業団でも、皆様にお届けする水道水が水道法の水質基準に適合し、安全な水質であることを確認するために水質検査を行っています。

Q5. 水をおいしく飲むためにはどうしたらいいですか？

A5. 個人差はありますが、おいしいと言われる水温は 10℃から 15℃とされています。水がぬるくて、あまりおいしくないと感じた場合は、冷蔵庫で冷やしてから飲むのがおすすめです。

Q6. なぜ水道料金が必要なのですか？

A6. 水道料金は、水道事業を運営するための大きな収入源であり、収入のおよそ 85%を占めており、そこから水をきれいにするための浄水処理、配管の維持管理、施設の修繕・更新などに使われます。安定して水道サービスを提供するために必要な費用です。

Q7. 水道料金は住んでいるところによって違いはありますか？

A7. 中空知広域水道企業団の給水区域(滝川市・砂川市・歌志内市・奈井江町)では、同じ料金体系を採用しています。ただし、下水道料金は市町ごとに異なります。

また、他の地域の水道料金は、それぞれの市町村(水道事業)が独自に設定しているため、料金が異なります。傾向としては、給水人口が多い都市部の方が安価であるとされています。

Q8. 水道管の老朽化は問題ではないのですか？

A8. 日本全国で水道管の老朽化が進んでおり、漏水や断水のリスクが高まっています。自治体や水道事業体は順次更新を進めていますが、予算や人手の問題から計画的な更新が課題となっています。

Q9. 災害時にも水は使えますか？

A9. 大規模な地震などでは水道が断水する可能性があります。そのため、多くの自治体では災害用給水拠点を整備し、給水車や仮設タンクによる水の供給体制を整えています。各家庭でも飲料水の備蓄をおすすめします。中空知広域水道企業団でも、令和6年度に給水車を購入しました。

Q10. 水道料金はなぜ 2 カ月に1回の検針なのですか？

A10. 水道料金が 2 ヶ月に 1 回の検針となるのは、主に経費削減のためです。検針や請求には人件費や郵送費などの費用がかかるため、検針回数を減らすことでこれらのコストを抑え、水道料金を安価に抑えることができます。

Q11. 水を作るのにどれだけの費用がかかっているのですか？

A11. 水道水は、原水の取水から浄水処理、配水まで、多くの工程と設備維持費、人件費、薬品代、電気代などがかかっています。具体的な金額は、年間の給水量などによって異なりますが、令和5年度の中空知広域水道企業団においては、収益的支出の合計はおよそ15億円(税込)となっており、これらの費用が水道料金に反映されています。

給水量は同年度で約555万 m^3 ですので、単純計算すると1 m^3 (1,000リットル)あたり約270円程度のコストがかかっていることになります。

Q12. 水道料金が今後値上がりすると聞いたのですが

A12. 水道料金は利用者の皆さまからお支払いいただく料金で運営しております。人口減少による水需要の低下や、原材料費・電力費などのコスト上昇を背景に、将来的には料金の見直しが必要と予測されますが、現時点で具体的な改定案は未定です。料金改定につきましては当ホームページや各市町の広報紙等でお知らせいたします。

Q13. 水道料金を値上げしないとどうなるのですか？

A13. 水道料金を据え置いたままでは、施設や設備の更新・修繕に必要な費用を確保できず、次のような影響が生じるおそれがあります。

老朽化設備の放置

配水管や浄水施設の劣化が進み、漏水や断水のリスクが高まります。

水質維持が困難に

水質検査や薬品投入などの管理が十分に行えず、安全性に影響する可能性があります。

災害対応力の低下

地震や豪雨時の緊急復旧体制が弱まり、復旧までの時間が長引くことがあります。

将来世代への負担増

更新を先送りすると、一度に必要な費用が増え、後の世代に重い負担がのしかかります。